

## 水性エポキシ樹脂配合 無機質浸透性防水材

# エレホン エポミックス#100

エポミックス#100は、無機質浸透性防水材エレホン#100をベースに、エポキシ・アクリルエマルジョンを配合した複合型浸透性防水材です。コンクリート表層部の毛細管閉塞効果とエポキシ・アクリルエマルジョンによる成膜効果により2重の防水層を形成するため、優れた防水性能を示します。

### 特長

- ▶ 毛細管中に浸透した、珪酸質系活性化超微粒子及びエポキシ・アクリルエマルジョンが反応硬化し管内を閉塞するため、コンクリート表層部に防水層を形成します。
- ▶ エポキシ・アクリルエマルジョンの成膜により、エポキシエマルジョン単体では得られない塗膜防水層を形成し、優れた防水効果を発揮します。
- ▶ エポキシ・アクリルエマルジョンの使用により耐薬品性及び耐海水性に優れています。
- ▶ ライトグレーに調色された防水層は新設コンクリートの風合いを損なう事なく、美観的にも優れています。
- ▶ 有機溶剤は一切含まれていません。

### 用途

- 農業集落排水処理施設
- 下水処理槽
- し尿処理場等

### 配合及び材料使用量

配合	コテ塗り	ハケ塗り 吹付け
粉体	10kg	10kg
混和液	主剤	3kg
	硬化剤	1kg
	粘度調整剤	0.5kg~1kg
m <sup>2</sup> 使用量	1.5kg(2回塗り合計使用量)	

### ● 荷姿(15kgセット)

- ・粉体 10kg
- ・混和液 主剤 3kg
- ・混和液 硬化剤 1kg
- ・混和液 粘度調整剤 1kg



- ・主剤及び硬化剤を先に攪拌し、粉体を加えさらに攪拌して下さい。
- ・コテ塗り、ハケ塗り・吹付け等の施工方法により、粘度調整剤を適量添加して下さい。
- ・攪拌には高速攪拌機を使用して下さい。

### 施工要領

- ① 下地処理 欠損、亀裂、ジャンカ、漏水等の欠陥部があれば、あらかじめ処理を行って下さい。施工面の汚れやレイタンス等をサンダーで除去し、研磨粉を水洗いにより取り除きます。
- ② 塗り付け コンクリートが乾燥している場合は水打ちを行い、エポミックス#100を塗り付けます。又、結露等により、コンクリート面に水滴が付着している場合は、布等でふき取って下さい。  
 下塗り: コテ又はハケで0.75kg/m<sup>2</sup>塗布して下さい。  
 上塗り: 下塗りが乾燥後同様に0.75kg/m<sup>2</sup>塗布して下さい。  
 ※リシンガン等で吹付けながらコテ又はハケで仕上げていくと効率よく施工ができます。
- ③ 注 水 上塗り終了後、最低3日間の養生を行ってから注水して下さい。



項目		品質規格	試験結果
容器の中での状態	粉 体	堅い塊がなく外観に異常がないこと	異常なし
	樹 脂 液	かき混ぜたとき、塊がなく、一様なこと	異常なし
接着強さ	標準状態	0.98N/mm <sup>2</sup> 以上	2.45N/mm <sup>2</sup>
	浸漬後	0.98N/mm <sup>2</sup> 以上	2.31N/mm <sup>2</sup>
耐ひび割れ性		ひび割れが発生しないこと	異常なし
耐 衝 撃 性		割れ、はがれがないこと	異常なし
耐 久 性		割れ、ふくれ、はがれがなく、付着強さが0.78N/mm <sup>2</sup> 以上	異常なし 2.01N/mm <sup>2</sup>
透 水 性		0.2g以下	0.15g
耐 酸 性		pH4の硫酸溶液に30日間浸漬しても外観に異常がないこと	異常なし

注) 上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

### ● 使用上の注意

- ・ご使用に際してはMSDS(製品安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・製品は直射日光、湿気を避けて5~35℃で保管して下さい。
- ・製品は冬用と夏用があり、その使用期間の目安は、冬用が10月~4月、夏用が4月~10月です。
- ・飲料用水槽、養魚用水槽には使用できません。
- ・本製品は、亀裂に対する追従性はありません。
- ・結露により硬化不良を起こすことがありますので、結露が考えられる場合は通風等の結露防止策を行って下さい。
- ・施工中、養生中に5℃以下になることが考えられる場合は、採暖を行って、施工、養生温度を5℃以上に保って下さい。
- ・長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- ・一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- ・目に入った場合は直ちに水で数分間注意深く洗い、眼科医の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗浄し、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

### ● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

- 既存下地・施工環境・気候とさまざまな施工上の問題がありますので、使用の際は当社営業担当へご相談下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エレホン・化成工業株式会社**  
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本 社 ・ 工 場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● い わ き 工 場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大 阪 支 店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町2-12-50	TEL (06) 6388-6585	FAX (06) 6388-6561
● 福 岡 支 店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関 東 ・ 東 支 店	〒340-0055	埼玉県草加市清門町2-4-8-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
● 仙 台 支 店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛知県名古屋市守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札 幌 営 業 所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 盛 岡 営 業 所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
● 新 潟 営 業 所	〒950-0925	新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31	TEL (025) 286-6260	FAX (025) 286-6263
● 関 東 ・ 北 営 業 所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
● 関 東 ・ 西 営 業 所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台19-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
● 北 陸 営 業 所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 神 戸 営 業 所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
● 広 島 営 業 所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 北 九 州 営 業 所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
● 熊 本 営 業 所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿 児 島 営 業 所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜1-9-3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230